

家族ってなんだろう？ 誰が子どもを育てるんだろう？

映画を集めました。施設や地域が家族の子育てを包括的にサポートするかたちを描いた『さとにきたらええやん』『夜間もやってる保育園』、事情があり子育てが出来ない家族のための施設『隣の人』、そして家族という呪縛を破壊せんとした女性監督が自らの家族を撮った『アヒルの子』。誰にでも身近な「家族」についてのドキュメンタリー映画の数々から、正解の無い様々な子育てのかたちが見えてくるはずです。

『隣の人』(2011/日本/85分/カラー)

監督: 刀川和也 配給: アジアプレス・インターナショナル

児童養護施設「光の子どもの家」の日常に8年間にわたり密着したドキュメンタリー。さまざまな事情で親と一緒に暮らせない子どもたちと親代わりの保育士たち何気ない日常の中で、愛を乞う子どもたちの切実さ、関わる保育士と実の親それぞれの葛藤を通して、血縁とは何か、家族とは何かを問いかける。



『さとにきたらええやん』(2015/日本/100分/カラー)

監督: 重江良樹 配給: ノンデライク

「日雇い労働者の街」大阪・釜ヶ崎で子どもたちの憩いの場であり続けている「こどもの里」に密着したドキュメンタリー。さまざまな困難にぶつかりながらもたくましく育つ子どもたちと彼らを支える職員たちや街の人々の奮闘を描き、家族だけに背負わせない包括的な子どもへのケアについても提起している。



『夜間もやってる保育園』(2017/日本/111分/カラー)

監督: 大宮浩一 配給: 東風

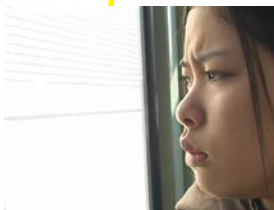
新宿にある24時間保育園「エイビイイ保育園」を中心に、夜間保育園の知られざる現実を捉えたドキュメンタリー。現代の家族にとって本当に必要な保育の在り方とは何か、様々な事情から子どもを預ける親や、保育士たちの葛藤と喜び、子どもたちの生き生きとした姿を通して描いてゆく。



『アヒルの子』(2005/日本/92分/カラー)

監督: 小野さやか 配給: ノンデライク

5歳のときにコミュニケーション団体「ヤマギシ会」幼年部に1年間預けられた過去を持つ監督・小野さやかは、親に捨てられた記憶としてその過去に苦しみ、家族の前で偽りの“いい子”を演じてきた。自らをその鬱屈から開放するため「家族を壊す」決意で突き進むアクション・ドキュメンタリー。



『沈没家族 劇場版』(2018/日本/93分/カラー)

監督: 加納土 配給: ノンデライク

90年代半ば。シングルマザーだった加納土監督の母親が、緩やかに育児を共にしてくれる人を募集したことで生まれた「沈没家族」という共同保育、共同生活のかたち。大学生になった監督はかつて一緒に生活した人たちや母、そして不在だった父の姿を追いかける中で、家族の形を見つめなおしていく。



たくさんの大人たちによる共同保育で育った監督自身が、家族の在り方を問い直してゆく『沈没家族 劇場版』のアンコール上映を記念して「家族」を形成する第一歩である「子育て」についてのドキュメンタリー映

	13:00	15:30
8/24 土		隣の人
8/25 日		さとにきたらええやん
8/26 月		アヒルの子
8/27 火		夜間もやってる保育園
8/28 水		さとにきたらええやん
8/29 木		隣の人
8/30 金	沈没家族 劇場版	夜間もやってる保育園
8/31 土		アヒルの子
9/1 日		夜間もやってる保育園
9/2 月		隣の人
9/3 火		さとにきたらええやん
9/4 水		アヒルの子
9/5 木		隣の人
9/6 金		アヒルの子

8/24 土
~9/6 金

ポレポレ東中野

03-3371-0088 www.mmjp.or.jp/pole2/

JR総武線東中野駅西口北側出口より徒歩1分
または都営大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

一般1500円 | 大学・専門・シニア1200円 | 中・高・障害1000円 | 小学700円
※リピーター割引あり! 半券提示で当日一般1200円

真夜中の家族映画特集

8/31(土) 開場23:15 | 開映23:30

料金: 前売2200円 | 当日2500円

「ドキュメンタリーと家族」特集上映を記念して、極北の「家族映画」が一晩限りの上映! 上映作品はPFF受賞の原点『沈没家族(卒制版)』、もはや伝説の破壊的家族ドキュメンタリー『家族ケチャップ』、母とのプライベートな撮影から輪廻に飛翔する傑作『チーズとうじ虫』、今回唯一の劇映画で京都を舞台にストレンジな家族を描いた『太秦ヤコベッティ』。滅多に観ることができない作品群、どうぞお見逃しなく!

上映作品

『沈没家族(卒制版)』(2017/監督:加納土)

『家族ケチャップ』(1992/監督:工藤義洋)

『チーズとうじ虫』(2005/監督:加藤治代/配給:「チーズとうじ虫」上映委員会)

『太秦ヤコベッティ』(2013/監督:宮本杜朗/配給:シマフィルム)